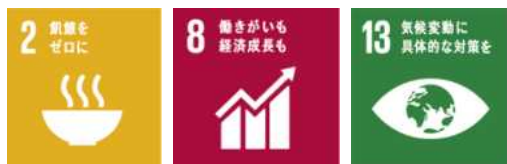


普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)9月6日
所属名：東近江農産普及課西部
番号：E23004
部門分類：110(稲)
発信者名：川上、大橋、大角、他

近江米新品種「きらみずき」作付推進説明会および現地ほ場見学会を開催

8月24日、令和6年度に本格デビューを迎える水稻新品種「きらみずき」の生産拡大を図るため、栽培に関心のある管内の農業者やJA等の集荷業者を対象とした説明会および現地ほ場見学会を近江米振興協会、みらいの農業振興課および東近江地域農業センターと連携し開催しました。当日は、農業者54名、関係機関31名の計85名の参加がありました。

令和5年度、東近江管内において「きらみずき」は、県内約55haのうちの約30haで作付けされています。本格デビューを迎える令和6年度は、全県で作付面積500haを目標に取り組みを推進しています。

目標達成には、関心のある生産者に「きらみずき」を知っていただき栽培したくなるような働きかけを行う必要があります。

説明会では、みらいの農業振興課から「きらみずき」育成の背景や生産方針、流通・販売方針について説明があり、当課から「きらみずき」の品種特性および管内における今年度の取組と生育状況について説明を行いました。

その後、現地ほ場に移動し出穂期を迎えた「きらみずき」を確認しながら、栽培概要について説明を行いました。

参加者からは、「手間のかかる栽培方法に対して、コンセプトや価格が消費者に理解を得られるように県からの支援が重要である」との意見や、栽植密度や施肥体系など栽培方法についての質問があり、「きらみずき」栽培への関心の高さが伺えました。

当課では、今後も「きらみずき」の生産拡大に向けて、関係機関と連携し取り組んでいきます。



図1 室内での説明会



図2 現地ほ場での見学会